



すべての人の、
笑顔のために。

陸上自衛隊

陸上自衛隊オンラインメディア

X公式



Facebook



Instagram



YouTube



陸自公式HP



自衛官募集HP



陸上自衛隊仕事図鑑



INDEX

■ 陸上自衛隊とは？

① 陸上自衛隊の魅力	02
② 陸上自衛隊の任務	03
③ 陸上自衛隊の編成	04
④ 各部隊の配置	05

■ 陸上自衛隊の主な職種

① 職種とは？	06
② コラム「特技」とは？「き章」って何？	07

① 普通科	08	⑪ 輸送科	28
② 機甲科	10	⑫ 化学科	30
③ 野戦特科	12	⑬ 警務科	32
④ 高射特科	14	⑭ 衛生科	34
⑤ 情報科	16	⑮ 会計科	36
⑥ 航空科	18	⑯ 音楽科	38
⑦ 施設科	20		
⑧ システム通信科	22		
⑨ 武器科	24		
⑩ 需品科	26		



■ 共通職とは？

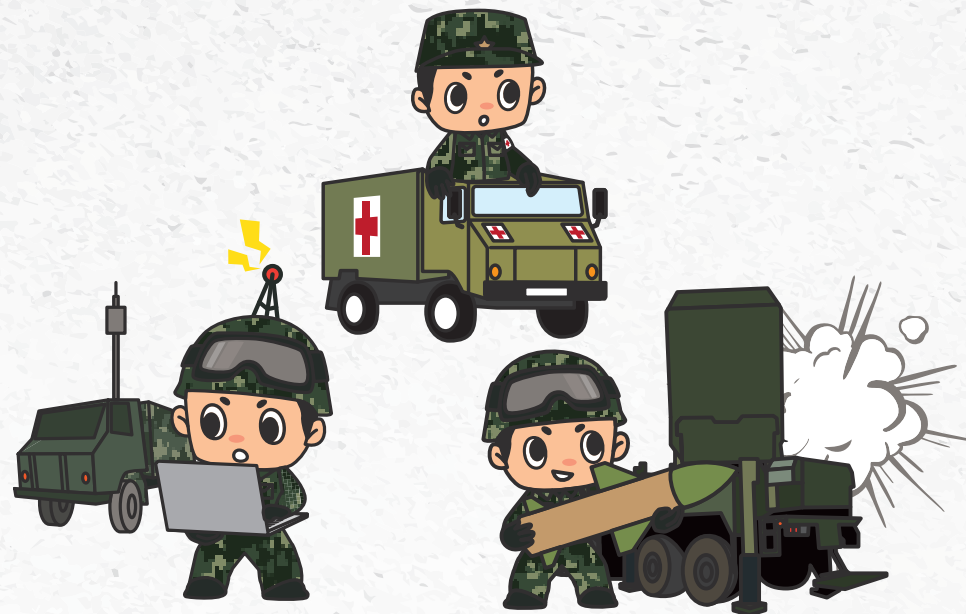
① サイバー関連	40
② 法務官・広報官	41
③ 語学・戦史教官	42

■ 陸上自衛隊のキャリアパス

① 陸上自衛隊のキャリアパス	43
② 陸上自衛隊の退職後の活躍	44

■ 主要装備品一覧 45～51

■ 備考欄 52～53



① 陸上自衛隊の魅力

人を救うのは、人しかない。
「国土国民を直接守る」というやりがい

『人』が中心の組織

- ▶ 自衛隊の中でも最大規模の隊員数
- ▶ ミッションはチームとして行うのが基本
- ▶ 人を主体として行動
- ▶ 隊員一人一人の力が重要な戦力
- ▶ 人材育成にも力を入れており、教育態勢が充実



最も『人』に近いところで『人』のために

- ▶ 災害時など、直接国民に近いところで活動
- ▶ 人命救助から生活支援まで幅広い任務に対応



② 陸上自衛隊の任務

陸上自衛隊は、わが国に対するミサイル攻撃や島しょ部への侵攻などが発生した場合に、海上自衛隊や航空自衛隊と連携し、陸上防衛力をもって、わが国の平和と独立、国の安全を直接守ります。
また、災害派遣やテロ対応等の公共の秩序維持にあたる他、国際平和協力活動等の任務にも従事します。



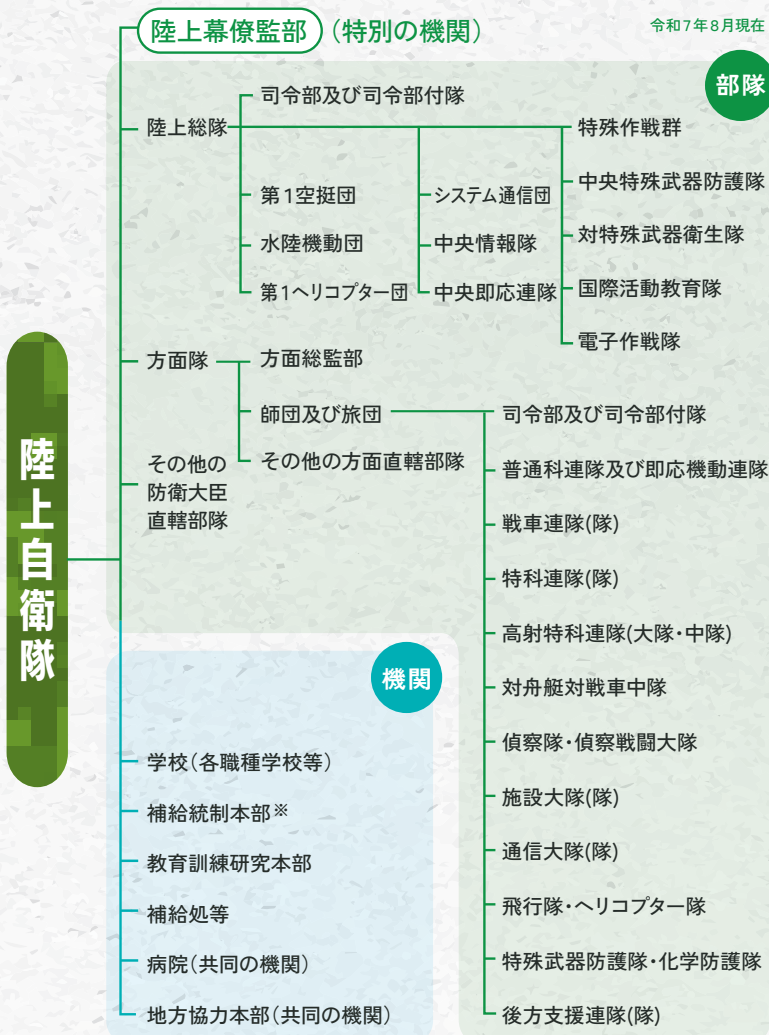
自衛隊の任務に関する概念図



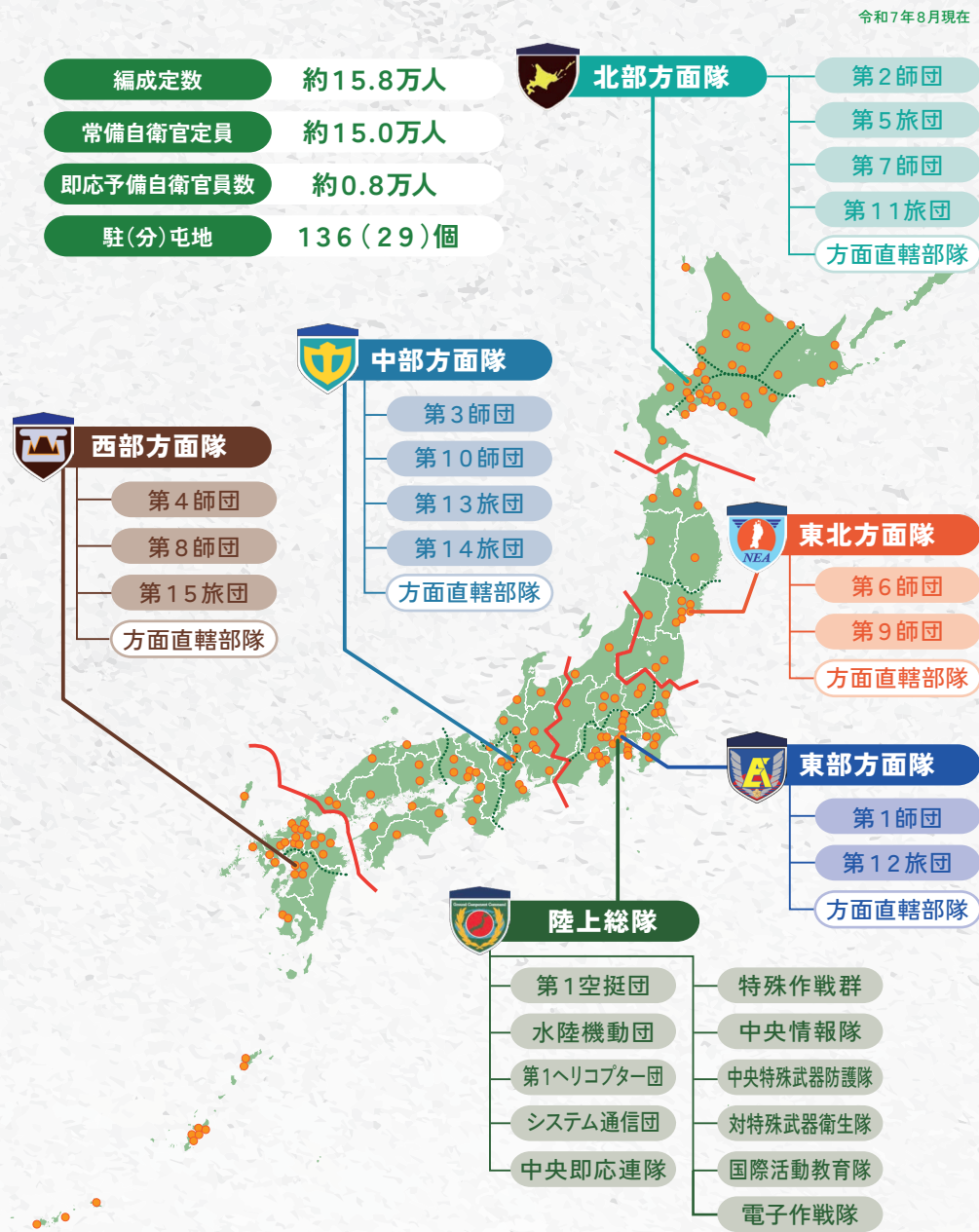
（自衛隊が長年にわたって培ってきた技能、経験、組織的な機能などを活用することが適当であるとの判断から自衛隊が行うこととされたものについては、「本来任務」に対して「付随的な業務」と呼ばれます。「付随的な業務」には、サミットのため来日した国賓などの輸送や教育訓練の一環として実施している公園の整地工事や道路工事などの受託、オリンピック・パラリンピック、国民体育大会などの運動競技会に対する協力などがあります。

3 陸上自衛隊の編成

陸上自衛隊は、陸上総隊や方面隊等の「部隊」、学校や教育訓練研究本部等の「機関」及び陸上幕僚監部(特別の機関)により編成されています。部隊の中核をなす方面隊は全国に5コ方面隊があり、細部の編成はそれぞれの特性に応じて異なっています。また、下図では師団及び旅団の編成要素となる部隊についても記載していますが、それぞれの職種部隊の有無や規模等は、各師団・旅団によって異なっています。



4 各部隊の配置



職種とは

陸上自衛隊には16の職種があり、各々の特性を発揮しつつ、様々な組み合わせにより各種事態へ柔軟に対処します。

防衛の最前線に立つ普通科や機甲科のような戦闘職種から、輸送科や衛生科のような後方支援職種まで、さまざまな職種が存在しています。

部隊編成も、おおむね職種ごとに分けられています。

16の職種は、それぞれが専門分野であり、専門的な教育・訓練を通じて、その分野のエキスパートとして必要な能力を身につけることが求められます。



普通科



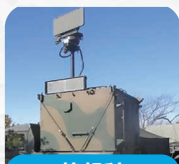
機甲科



野戦特科



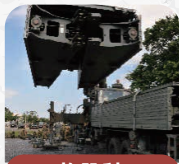
高射特科



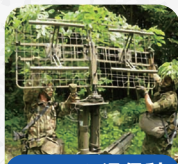
情報科



航空科



施設科



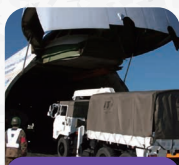
システム通信科



武器科



需品科



輸送科



化学科



警務科



衛生科



会計科



音楽科

COLUMN

陸上自衛隊の「特技」とは？



レンジャーき章

MOS(モス(Military Occupational Specialty))と呼ばれる陸上自衛隊内における免許・資格制度のことです。例えば、自動車を運転するには、運転免許が必要ですが、陸上自衛隊ではこの運転免許に加えて「装輪操縦(共通特技)」という「特技」も必要になります。

この「特技」は、大まかに表現すると、特技職としてそれぞれの職種の特性に応じて設けられている職種ごとの特技及び全職種共通の特技並びに付加特技と呼ばれる3つに大別されます。

「特技」の中でも特に、陸上自衛隊の中で最も過酷といわれているのが「レンジャー(付加特技)」。

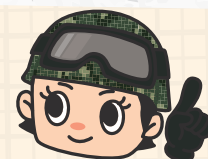
厳しい素養試験を無事合格し、数々の困難な訓練を乗り越えた選ばれし者だけがこの特技を取得し、「ダイヤモンドより固い意志」をあらわすレンジャーき章を手にすることがきるのです。

ご紹介した「レンジャー」は特異な特技ですが、基本的に陸上自衛官は、それぞれの職務を遂行するにあたり、必要なスキルを「特技」という形で明確に付与され、自信をもって日々勤務をしています。



COLUMN

陸上自衛隊の「き章」って何？



陸上自衛官が制服等の胸につけているもので、陸上自衛官の現在の職務や取得した技能がわかります。

※ 下表で紹介しているき章は、職種き章以外のき章になります。各職種のき章は、各職種の紹介ページに掲載しています。

航空き章	航空き章 (機上整備員)	航空管制 き章	スキー き章	レンジャー き章	空挺き章
自由降下 き章	不発弾処理 き章	特殊作戦 き章	冬季遊撃 き章	水陸両用 き章	艇長き章
洋上潜入 き章	水路潜入 き章	体力き章	格闘き章	射撃き章	募集広報 き章

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

~ 地上戦闘の主役 ~



普通科は地上戦闘の中心となる職種で、機動力、火力、近接戦闘能力を有し、地域を占領する等、作戦で重要な役割を担います。

個人で扱う小銃、機関銃、対戦車ミサイルはもちろん、チームで扱う迫撃砲や装甲戦闘車など、さまざまな装備品を駆使して、あらゆる場所で戦う戦闘のプロフェッショナル集団。

災害派遣においても、人命救助など、直接的に人命を救助する機会が多い職種です。

陸上自衛隊における基本となる職種であり、最も人員が多く、部隊数も最多です。



この職種の
やりがい!

地上戦闘の中心的な存在となり、各職種部隊の増強を受けて普通科部隊が主導的に作戦を遂行「主役」として活躍できる。

職種学校 富士学校 普通科部(静岡県)

富士山の麓に位置する富士学校。普通科隊員は機甲科、野戦特科の学生とともに、ここで高度で実戦的な地上戦闘のノウハウを日々学んでいます。

普通科の主要装備品



20式小銃

89式小銃の後継として開発された最新式の自動小銃。小銃は、すべての陸自隊員が一度は手にする相棒。

小銃手 特技:軽火器



分隊長の指揮の下、主に小銃を駆使して仲間の小銃手や機関銃手とともにミッションを遂行。移動は「常に徒歩」ではなく、勿論、軽装甲機動車等の車両も活用(車両の運転もやります。)



120mm迫撃砲RT

主に、発射位置から見えない遠方の目標に対処する火砲(砲弾は放物線を描いて飛翔)。専用の高機動車でけん引して移動。普通科連隊の重迫撃中隊等が装備。

副砲手 特技:中級迫撃砲



分隊長の指揮の下、砲手が狙いを定めた迫撃砲の砲口に砲弾を装填。



中距離多目的誘導弾

87式対戦車誘導弾の後継として開発された多目的誘導弾。発射位置から見えない遠方の目標(主に戦車や装甲車)も対処可能。普通科連隊の対戦車小隊等が装備。

前進観測陸曹 特技:中級迫撃砲又は中級ATM



小銃小隊等とともに行動して迫撃砲又は誘導弾の射撃に必要な目標の位置などの情報を迫撃砲部隊又は対戦車部隊に提供。

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
野外戦闘訓練下、じ後の行動を準備している普通科の学生



学生教育の一コマ
装甲車内にて指揮所活動の教育を受ける普通科の幹部学生

主要な職種部隊	普通科連隊、即応機動連隊、空挺団普通科大隊、中央即応連隊、水陸機動連隊、対舟艇対戦車隊 等
主要な特技	軽火器、ATM、迫撃砲、狙撃、レンジャー
主要装備品	【火器】 小銃、機関銃、01式軽対戦車誘導弾、中距離多目的誘導弾、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲
	【車両】 89式装甲戦闘車、96式装輪装甲車、軽装甲機動車、高機動車 等

普通科紹介動画



野外戦闘訓練



市街地戦闘訓練



実弾射撃訓練



レンジャー訓練

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ 強力な火力と機動力と 防護力で突破口を開く ～



戦車部隊、機動戦闘車部隊、偵察部隊及び水陸機動団の戦闘上陸大隊があり、戦車の正確な火力、優れた機動力及び装甲防護力により敵を圧倒するとともに、情報収集を行います。

戦車部隊は、機動打撃力の基幹及び対戦車戦闘の骨幹です。偵察部隊は、上級部隊指揮官の耳目となり偵察及び警戒を行います。戦闘上陸大隊は、海上機動並びに上陸後の機動及び近接戦闘の骨幹として水陸両用作戦を遂行します。



この職種
のやりがい!

我が国の防衛や災害対応に直接的に関わる使命感と、高度な技術と知識を習得し、実践する中で成長を実感できる点に加え、苦楽を共にする**自車**に対する**愛着**が沸く。

職種学校 富士学校 機甲科部(静岡県) ※水陸両用車部隊については水陸機動教育隊

富士山の麓に位置する富士学校。機甲科隊員は普通科、野戦特科の学生とともに、ここで高度で実戦的な地上戦闘のノウハウを日々学んでいます。

機甲科紹介動画



機甲科の主要装備品



10式戦車

機動力、火力、装甲防護力の3要素を兼ね備えた陸自4代目の最新主力戦車。自動装てん装置を装備し、車長、砲手及び操縦手の3名で運用。タイヤではなくキャタピラで走るので、悪路でも楽々機動。車内には、ハイテク器材が満載。独自のネットワークを構成して仲間との連携が容易。戦車連隊、方面戦車隊等が装備。



車長の指揮の下、指定された方向の警戒、索敵等を行うとともに戦車砲及び同軸機関銃の射撃を担当。射撃統制装置等、器材がハイテク化しても、射撃の精度は砲手の腕次第。



16式機動戦闘車(MCV)

機動力、火力及びある程度の装甲防護力を有する戦闘車両。車長、砲手、操縦手及び装填手の4名で運用。比較的軽量でタイヤで走るので、キャタピラのように舗装道路を傷つけず、平時から一般道路を自走可能。即応機動連隊、偵察戦闘大隊等が装備。



小隊長の指揮の下、乗員3名を預かり、単車を指揮。他車等と連携しつつ、単車の運動指揮や射撃指揮を行う。砲手に優先して砲塔を操作可能で、状況により自ら射撃することもある。



水陸両用車(AAV7)

海上機動性及び防護性に優れ、海上から部隊等を投入する時に活躍。車長、砲手及び操縦手の3名で運用し、乗員の他約20名の人員を輸送可能。水陸機動団の戦闘上陸大隊等が装備。



車長の指揮の下、海上及び陸上における水陸両用車の操縦を担当。操縦のために必要な大型特殊免許及び小型船舶免許(1級)も官費で取得。

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
偵察課目の一つである爆破薬の扱いについて訓練する学生



学生教育の一コマ
偵察部隊の地上レーダ装置を使った総合訓練の状況

主要な職種部隊	戦車連隊、戦車隊、偵察戦闘大隊、偵察隊、即応機動連隊の機動戦闘車隊(機動戦闘車中隊)、水陸機動団の戦闘上陸大隊等
主要な特技	機甲、偵察等
主要な装備品	90式戦車、10式戦車、16式機動戦闘車、87式偵察警戒車、水陸両用車(AAV7)、オートバイ「偵察用」、軽装甲機動車、地上レーダ装置、野戦情報探知装置等



着上陸訓練



戦闘訓練



操縦訓練



偵察訓練

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ 長射程火力で敵を 撃破する戦場の女神 ～



野戦特科は、対地・対海上火力の骨幹として、火力の統制及び調整の中核となり、火力戦闘により作戦部隊の任務達成に寄与します。

大口径のりゅう弾砲、ミサイル・ロケットを装備し、火力戦闘部隊として、大量の火力を集中し、広域な地域を制圧するとともに、長射

程かつ精密な火力を随時・随所に指向して海上・地上の敵

を撃破します。野戦特科は、

火力により、戦場で決定的

な役割を果たすことから

“戦場の女神”と呼

ばれています。



この職種の
やりがい!

射撃の専門家として成長していくことができ、
戦闘職種の内強いサポート役として他部隊から感謝される。
さらに、海外で長距離実弾射撃を行う機会がある。

職種学校 富士学校 特科部(静岡県)

富士山の麓に位置する富士学校。野戦特科隊員は普通科、機甲科の学生とともに、
ここで高度で実戦的な地上戦闘のノウハウを日々学んでいます。

野戦特科紹介動画



野戦特科の主要装備品



99式自走155mmりゅう弾砲

主に、発射位置から見えない遠方の目標に対処する自走可能な火砲。観測機関や射撃指揮機関等と密接に連携しつつ運用。キャタピラのため、悪路での走破性が高く、迅速な陣地変換が可能。また、ある程度の装甲防護力があり、生存性が高い。北海道の特科連隊等が装備。

算定陸曹 特技:中級野戦特科射撃指揮



射撃指揮所等で勤務し、方位角や射角等の射撃に必要な諸元を算定。



19式装輪自走155mmりゅう弾砲

けん引式のりゅう弾砲(FH70)の後継として配備されている新型の火砲。主に、発射位置から見えない遠方の目標に対処。観測機関や射撃指揮機関等と密接に連携しつつ運用。内陸の山陰や谷間などに隠れて発射することができ、生存性が高い。北海道以外の特科連隊等が装備。

気象班長 特技:上級弾道気象



班員を指揮し、気象測定装置や携帯気象計等を駆使して大気温度、湿度、風向等の気象情報を収集、提供し、射撃の命中精度の向上等に寄与。



12式地对艦誘導弾発射装置

車両搭載型の対艦ミサイル。ミサイルは、プログラムされたコースに沿って低空を飛行し、GPS誘導等により目標に到達。観測機関や射撃指揮機関等と密接に連携しつつ運用。内陸の山陰や谷間などに隠れて発射することができ、生存性が高い。地对艦ミサイル連隊等が装備。

レーダー陸曹 特技:中級野戦砲レーダー



対艦レーダー班長の指揮の下、SRUレーダーを操作し、海上の目標を評定。地对艦誘導弾の射撃に必要な目標情報を提供。

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
シミュレーターを用いて火力の観測・誘導を訓練する学生

主要な職種部隊	特科団、特科連隊、特科隊、地对艦ミサイル連隊等
主要な特技	野戦砲、野戦砲射撃指揮、野戦砲レーダー等
主要な装備品	155mmりゅう弾砲(FH70)、19式装輪自走155mmりゅう弾砲、99式自走155mmりゅう弾砲、88式地对艦誘導弾発射装置、12式地对艦誘導弾発射装置、多連装ロケットシステム、120mm迫撃砲RT、SRUレーダー、対迫撃砲レーダー、対砲レーダー等



国外実弾射撃訓練

国外実弾射撃訓練

国内実弾射撃訓練

国内実弾射撃訓練

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ 対空防御の要 ～



対空戦闘部隊として侵攻する航空機を撃破するとともに、広範囲にわた
り迅速かつ組織的な対空情報活動を行います。

航空自衛隊や海上自衛隊、更には米国陸軍等と連携し、より遠くの航空
機の撃墜だけではなく、巡航ミサイルの迎撃、無人偵察機やドローンな
どもに対応するべく、日々進化しています。



この職種
のやりがい!

国防の要でもある防空システムにかかわることができ、アメリカで
の訓練も含めた実射の機会もある。また、英語やシステムの教育も
豊富にあり、**ハイテクな機材を使いこなすことができる。**

職種学校 高射学校(千葉県)

千葉県の下志津駐屯地に位置し、日本全国に所在する高射特科職種の隊員に、
陸上防空に必要な知識・技能の教育訓練を行っています。

高射特科紹介動画



高射特科の主要装備品



87式自走高射機関砲

対空機関砲を2門装備する自走式対空機関砲。
キャタピラのため、悪路での走破性が高く、機甲部
隊への随伴支援が可能。レーダー班の情報等によ
り早期に目標情報を取得し、最終的に搭載のレー
ダーにて目標を捕足して経空脅威に対処。北海道の
高射特科連隊等が装備。

レーダー員 特技:初級対空レーダー



監視レーダー班長の指揮の下、
監視レーダーの構成作業等に従
事し、対空監視、目標情報の獲
得等の業務に従事。



11式短距離地対空誘導弾

最新式の短距離地対空誘導弾。
射撃統制装置、複数の発射装置
により構成。短距離空域におけ
る巡航ミサイルを含む経空目標
への対処が可能。
高射特科大隊等が装備。

発射陸曹 特技:中級短SAM



発射班長の指揮の下、発電機員
とともに発射装置の運用に従
事。状況によりミサイルの発射操
作を行う(基本的には、指揮班で
勤務する射統陸曹が射撃統制装
置内で発射操作を実施)。



03式中距離地対空誘導弾

レーダー装置、射撃統制システ
ム、複数の発射装置、誘導弾運
搬装置により構成。中距離
空域における巡航ミサイルを含
む経空目標への対処が可能。
高射特科群等が装備。

射統陸曹 特技:中級SAM



指揮班長の指揮の下、他班員
とともに射撃統制装置の運用
に従事。対空戦闘においては、
射撃統制装置のコンテナ内に
て器材を操作。ミサイルの発
射操作も行う。

職種学校関連写真



高射教導隊の訓練の一コマ
職種部隊の活規範となる高射教導隊の実弾射撃訓練の状況

主要な 職種部隊	高射特科団、高射特科群、高射特科 連隊、高射特科大隊 等
主要な特技	高射火器、SAM、対空レーダー 等
主要な装備品	93式近距離地対空誘導弾、11式短 距離地対空誘導弾、03式中距離地対 空誘導弾、87式自走高射機関砲 等



射撃訓練



弾薬輸送



国内実弾射撃訓練



野外訓練

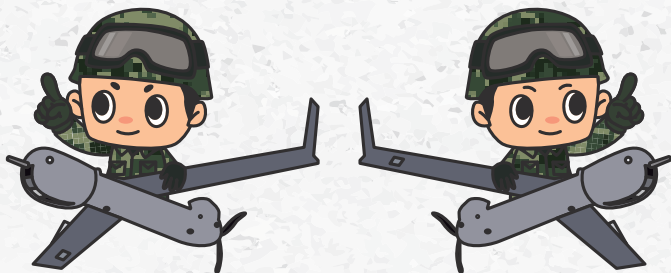
JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ 組織の命運を 左右する情報の要 ～



各種情報システム等を活用し、指揮官が的確な状況判断を行えるよう情報業務を行います。情報に関する専門的な技術と知識をもとに、情報資料の収集・処理・管理を行うとともに、地図の作成・配布も担当します。

また、通訳や翻訳業務なども行っており、これらの業務を通じて、各部隊の情報活動を支えています。



この職種の
やりがい!

自分の収集・分析した情報が、作戦の成否を左右するため、大きな責任感と使命感を味わうことができます。
また、語学特技を磨いたり、一般社会に居ては触れられないような情報にアクセスできるかも

職種学校 情報学校(静岡県)※語学教育を担う「第2教育部」は東京都に所在

情報学校には2つの教育部があります。富士駐屯地にある第1教育部と、小平駐屯地にある第2教育部です。第1教育部は、一般的な情報教育を行う部門であり、第2教育部は主に語学教育を担当する部門となっています。

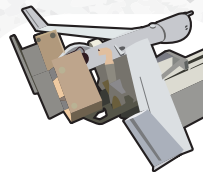
富士

小平

情報科紹介動画



情報科の主要装備品



スキャンイーグルII

無人で飛行して上空から地上の情報を収集する偵察機。発達装置・回収装置を使用することで、滑走路を使用することなく運用することが可能。機体本体や構成部品等を積載した複数の車両を用いて無人偵察機班がチームで運用。情報隊等が装備。

飛行統制陸曹 特技:中級無人偵察機



無人偵察機班長の指揮の下、他班員とともに無人機の運用に従事。器材等の展開を行い、端末を操作して無人機を操縦。



地上レーダー装置

地上における車両、人員等の移動目標及び海上における艦艇を中距離及び短距離から監視するために使用する装置。情報科部隊では、移動監視隊等が装備。

レーダー員 特技:初級偵察



監視班長の指揮の下、他班員とともにレーダーの運用に従事。迅速に移動してレーダー哨を開設、警戒監視等の任務を遂行。



近距離監視装置

赤外線カメラにより、車両、人員等の移動目標を近距離から監視するために使用する装置。情報科部隊では、移動監視隊等が装備。

監視陸曹 特技:中級偵察



監視班長の指揮の下、他班員とともに監視哨を開設。近距離監視装置等を活用して警戒、監視等の任務を遂行。

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
「移動監視班の行動」を訓練している学生の様子

主要な職種部隊	中央情報隊(情報処理隊、地理情報隊、基礎情報隊、現地情報隊等)、方面情報隊・情報処理隊、移動監視隊、無人偵察機隊、師・旅団情報隊等
主要な特技	情報、地理、語学等
主要な装備品	スキャンイーグルII、地上レーダー装置、近距離監視装置等

共同指揮所演習

監視訓練

UAV飛行訓練

UAV飛行訓練

~ 陸上自衛隊唯一の 空中機動部隊 ~



航空科は、空中機動能力を持つ部隊を有する陸上自衛隊で唯一の職種です。

各種ヘリコプターを用いて火力支援や偵察、部隊の空中機動、物資輸送などを行い、地上部隊を広く支援する役割を担っています。

また、航空機の操縦だけでなく、管制、気象、整備、通信といった多くの専門職が連携して任務にあたります。災害時には観測ヘリによる被災地の状況把握や、輸送ヘリによる人命救助・物資輸送も実施されます。

航空機の運航を円滑に行うための航空交通管制・気象予報なども重要な任務の一つです。



この職種の
やりがい!

空からの支援で
人命を救い、
空中機動作戦の要として活躍できる。

職種学校 航空学校(三重県)

三重県伊勢市に所在する明野駐屯地に本校を置いています。こちらでは航空科隊員の教育訓練を主要な任務としており、ヘリコプター操縦士や航空機整備員の養成、航空科部隊の運用に関する教育・研究を担っています。本校の他に、栃木県宇都宮市に宇都宮校、茨城県土浦市に霞ヶ浦校の2つの分校があります。

航空科の主要装備品



V-22 オスプレイ

防衛省初のティルト・ローター機という特殊な輸送機で、回転翼機の垂直離着陸とホバリング、固定翼機特有の高速性と、航続性能を併せ持つ汎用性の高い輸送機。迅速な部隊輸送が可能。第1ヘリコプター団が装備。

機上整備員 特技:中級航空整備



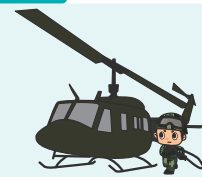
操縦手(正・副)とともに航空機に搭乗。飛行中に発生した軽微な故障の修理や、乗員の安全確保のための監視、救護活動などの業務を遂行。



UH-2

UH-1Jの後継機となる多用途ヘリコプター。名称のとおり偵察、人員輸送、物資輸送、空中消火、地雷散布等、多様な任務に対応可能。方面航空隊や師・旅団の飛行隊等が装備。

給油員 特技:初級航空整備



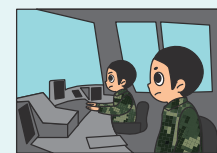
整備班長の指揮の下、他班員とともに航空機の運用に必要な地点に前進。燃料タンク車等を活用して航空機に対する燃料補給などの業務を遂行。



CH-47/JA

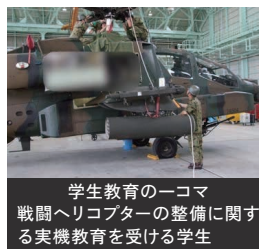
迫撃砲や高機動車等の装備品の輸送が可能な大型ヘリコプター。人員・物資等の輸送任務の他、その輸送力を発揮して空中消火任務でも大きく活躍。第1ヘリコプター団等が装備。

飛行場管制陸曹 特技:中級航空管制



飛行場管制班長の指揮の下、他班員とともに飛行場において離着陸する航空機及び飛行場周辺を飛行する航空機に対する目視管制業務等の業務を遂行。

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
戦闘ヘリコプターの整備に関する実機教育を受ける学生



学生教育の一コマ
操縦課程学生が、練習機での単独飛行訓練に従事する様子

主要な職種部隊	ヘリコプター団、方面航空隊(対戦車ヘリコプター隊、方面ヘリコプター隊、方面管制気象隊、方面航空野整備隊等)、師・旅団飛行隊等
主要な特技	操縦、管制、気象等
主要な装備品	OH-1、UH-1、UH-2、CH-47/JA、UH-60J、V-22、AH-1S、AH-64D、着陸誘導装置、航法援助装置、携帯用航法支援装置、燃料タンク車(航空用)等

航空科紹介動画



航空機誘導訓練



被災者避難支援



操縦訓練



国外実弾射撃訓練

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～道を拓き、 活動の場を築く～



施設科は、各種施設器材をもって障害の構成・処理、陣地の構築、渡河等の作業を行い戦闘部隊を密接に支援します。

また、施設器材の整備等も行います。

災害派遣やPKO(国連平和維持活動)でも活躍しており、

多くの施設器材を保有する特性を生かして

人命救助やインフラ復旧に貢献しています。



この職種の
やりがい!

最前線から後方まで、幅広い活動領域において戦い方を創造する技術者であるとともに開拓者として陸上自衛隊を任務達成に導く先駆者。
各種資格の取得機会や、実任務での海外派遣機会も多い。

職種学校 施設学校(茨城県)

施設学校は、施設科に関する教育訓練・調査研究・訓練評価支援・茨城隊区担任官業務・国際任務(能力構築支援等)を任務とし、全国から学生を受け入れ教育を実施します。駐屯地一般開放、駐屯地開設記念行事、夏祭り、施設学校音楽隊定期演奏会等、年間を通して様々な広報活動を実施しています。

施設科紹介動画



施設科の主要装備品



94式水際地雷敷設装置

国産の水陸両用車両で、海岸等の水際地域に地雷原を構成することが可能。
施設団等が装備。



92式地雷原処理車

92式地雷原処理用ロケット弾を発射し、地雷原を爆破により一挙に処理できる装備。爆破処理後に装輪車両が通行するためには、ドーザー等での地ならしが必要。施設団や施設大隊等が装備。



07式機動支援橋

作戦地域の河川、地隙等に架設して、第一線部隊等の機動を容易化。河川の流速及び河床土質の影響を受けることなく架設が可能。施設団、施設大隊等が装備。

施設分隊長 特技:上級施設



施設小隊長の指揮の下、分隊の隊員を指揮。主として築城、障害の処理、交通等の施設作業等のミッションを遂行。
※イラストは、地下指揮所の構築作業風景。

施設陸曹 特技:中級施設



施設分隊長の指揮の下、仲間とともに築城、障害の処理、交通等の施設作業等のミッションを遂行。※イラストは、集団装薬(爆破薬)による地雷原の処理(車両用通路への拡幅)風景。

架橋手 特技:初級架橋



渡河器材小隊長の指揮の下、機動支援橋等の運用に従事。支援橋の操縦等も実施。

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
木橋構築の実習教育を受ける
初級陸曹施設課程学生



学生教育の一コマ
漕舟訓練に汗を流す新隊員教育課程学生

主要な職種部隊	施設団、施設大隊、施設隊 等
主要な特技	施設、架橋、建設、施設機械整備 等
主要装備品	94式水際地雷敷設装置、92式地雷原処理車、07式機動支援橋、91式戦車橋、92式浮橋、装甲ドーザー 等



水際障害構成訓練



浮橋架設訓練



陣地構築訓練



戦車橋架設訓練

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ サイバー・電子戦の 最前線 ～



システム通信科は、各種通信機器を用いて部隊間の指揮・連絡を確保する役割を担っており、緊急時には迅速に通信回線を構成し、命令伝達や情報共有を円滑に行えるよう支援するとともに、写真や映像の記録・処理なども行います。災害派遣においては、救助や物資輸送の指示に不可欠な通信ラインの維持を行っています。また、サイバー・電磁波という新たな領域での戦いにおいて要となる役割を果たしています。



この職種の
やりがい!

部隊行動の命脈となる通信を担うという充足感がある。
また、情報処理や通信系の国家資格や民間企業が実施するベンチャー資格の取得等も可能で、**充実したスキルアップ**ができる。

職種学校 システム通信・サイバー学校(神奈川県)

久里浜駐屯地(神奈川県)に所在しています。同教育を行っていた「陸上自衛隊通信学校」が2024年3月に改編・改称され、不正アクセスといったサイバー攻撃への対処要員も育成するようになりました。

システム通信科紹介動画



システム通信科の主要装備品



野外通信システム

方面隊、師団等の指揮・統制のための通信を継続的に確保するために使用。
通信群や通信大隊が装備。

ネットワーク員 特技:初級ネットワーク



電話班長の指揮の下、師団司令部等の指揮所の電話通信を確保するための業務に従事。
電話線の有線構成等の作業も実施。



広帯域多目的無線機

野外通信システムの構成品の一つ。ソフトウェア無線機の一つで、音声による無線通信の他、データ通信等も可能で、構成した無線系に加入している味方の位置情報を共有できる等、名称の通り多目的に活用可能な装備。システム通信科職種部隊のみならず、殆どの部隊が装備。

電子戦陸曹 特技:中級電子戦



電子戦班長の指揮の下、電子戦器材を使用して脅威対象の通信を妨害する任務を遂行。

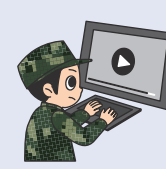


ヘリコプター映像伝送装置

機上撮影装置(上) 衛星可搬局装置(下左) 移動受信装置(下右)

航空科職種部隊が装備する多用途ヘリコプター等に搭載し、リアルタイム映像を方面総監部等に配信可能。
各方面システム通信群が装備。

映像陸曹 特技:中級映像写真(共通特技)

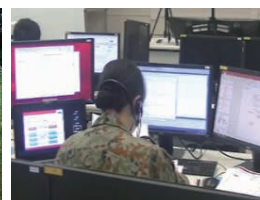


編集班長の指揮の下、撮影班等から提供を受けた映像資料の編集等の業務を遂行。採用広報用の動画等の編集作業も実施。

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
野外有線構成を実施する学生



学生教育の一コマ
ネットワーク監視を実施する学生

主要な職種部隊	システム通信団、方面システム通信群、師団通信大隊、旅団通信隊
主要な特技	ネットワーク、暗号電信、システム運営、電子戦、映像写真 等
主要装備品	野外通信システム、ヘリコプター映像伝送装置、ネットワーク電子戦システム 等



野外通信構成訓練
(アクセスノード)



電子戦訓練
(NEWS)



衛星通信構成訓練
(緊急展開型衛星通信セット)



映像伝送訓練
(LR-SAT)

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

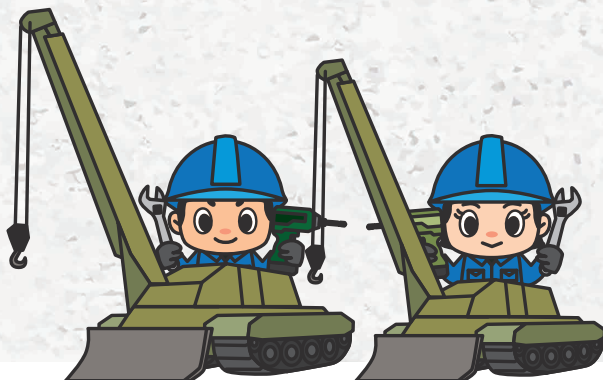
～ 自衛隊の戦力維持の基盤 ～



武器科は、各部隊が保有する火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備を担う職種です。不発弾の処理も国民の安全を守る上での重要な任務の一つであり、作戦中に故障した戦車の回収作業なども担当しています。

また、災害派遣時には、装備品を迅速に展開し、救助活動や物資輸送などを支援します。

装備品の整備・補給は多くの部隊の活動の基盤となり、陸上自衛隊の戦闘力を維持するために非常に重要な役割を担っています。



この職種の
やりがい!

専門的な技術が身に付き、
公的資格を取得することも可能です。

職種学校 武器学校(茨城県)

土浦駐屯地にあり、陸上自衛隊の装備する車両、火器、誘導武器、弾薬などの整備教育及び鍛造溶接など専門技術教育並びに上級指揮官・幕僚の運用教育を実施しています。

武器科紹介動画



武器科の主要装備品



重装輪回収車

装輪装甲車等の野外回収及び整備作業のために使用する装備。16式機動戦闘車等の装甲を有する重車両の回収も可能。後方支援連隊等が装備。



11式装軌車回収車

装軌車の回収及び整備作業のために使用する装備。けん引トローパーで装輪車及び装軌車のけん引(回収)が可能。後方支援連隊等が装備。



1/2t溶接車

野外における電気溶接のため、1/2tトラックに電気溶接機を搭載した装備。後方支援連隊等が装備。

装輪車整備陸曹 特技:中級装輪車整備



車両整備小隊長の指揮の下、故障した装輪車両の回収や整備等の任務に従事。助けを必要とする車両の下に前進し、野外整備を基本として実施しますが、平素は整備工場での作業も多い。

装軌整備班長 特技:上級装軌車整備



車両整備小隊長の指揮の下、車両整備陸曹、施設機械整備陸曹、鍛造工作陸曹等の班員を指揮して装軌車両の回収や整備等の任務を遂行。

鍛造工作陸曹 特技:中級鍛造工作(共通特技)

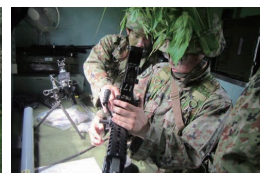


車両整備小隊長の指揮の下、故障した装輪車両の回収や整備等の任務に従事。溶接器材等を駆使し、職人技術を発揮して故障箇所を復旧。

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
野外整備実習にて戦車の砲身交換を行う学生



学生教育の一コマ
野外整備実習にて入場器材の機能点検をする学生

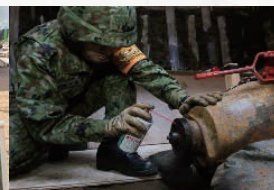
主要な職種部隊	後方支援連隊整備大隊、後方支援隊整備中隊、中央即応連隊の爆発装置処理隊等
主要な特技	火器整備、装軌車整備、誘導武器整備、弾薬等
主要な装備品	重装輪回収車、11式装軌車回収車、1/2t溶接車等



野外整備訓練



弾薬運搬



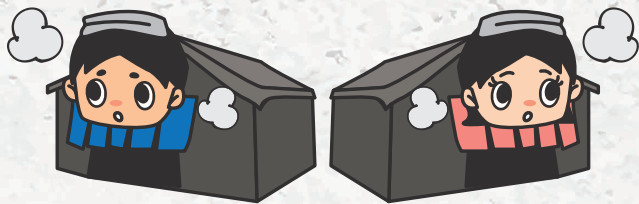
国際貢献

不発弾処理

～ 部隊や隊員を直接支える 緑の下の力持ち ～



需品科は、糧食・燃料・需品器材等の補給整備や給食、給水、入浴・洗濯などの業務を行い、部隊や隊員の生存・活動を直接支援する職種です。需品科が取り扱う糧食、水、燃料、戦闘服、天幕、寝具などの物品や、給食、入浴・洗濯などのサービスは部隊の生存・活動に必要不可欠です。また、災害時には隊員のみならず、被災された方にも、補給品の提供や給水、入浴などの支援を行います。



この職種の
やりがい!

部隊や隊員とともに存在して、その活動を直接支えられること。演習や災害派遣などで、隊員や被災者から「ありがとう」の感謝の言葉をかけてもらえること。

職種学校 需品学校(千葉県)

松戸駐屯地(松戸市、鎌ヶ谷市)に所在し、需品科に関する教育や研究を行っています。需品器材の操作や補給整備の要領、装備を使用した浄水や入浴の業務、調理、補給管理などを教えています。また、千葉県北西部8市との防災訓練や、駐屯地一般開放(盆踊り、創立記念行事等)などを通じて、地域の安心・発展や信頼構築に取り組んでいます。

需品科紹介動画



需品科の主要装備品



水タンク車(5000L)

飲料水の輸送や交付などに使用する装備。
一般部隊が保有する水トレーラの約5倍の水を輸送可能。
後方支援連隊等が保有。



浄水セット、逆浸透2型

移動展開して、河川や海などから取水・浄水し、飲料水を提供する装備。
浄水した水を水タンク車や水トレーラを使用し部隊・隊員へ交付。
後方支援連隊等が保有。



野外入浴セット2型

移動・展開して浴槽やシャワーを設置し、入浴を提供する装備。
近くに水源がない場合は、水タンク車や浄水セットと連携して入浴所を開設。
後方支援連隊等が保有。

需品業務手 特技:初級需品サービス



班長や組長の指導の下、入浴セットや洗濯セットを操作して、入浴業務や洗濯業務に従事。
新隊員後期教育終了後、後方支援連隊等で特技を取得。

需品整備陸曹 特技:中級需品器材



班長の指導の下、故障探求や部品請求などを行い、需品器材や天幕などの整備業務に従事。
初級陸曹の特技として需品学校で取得。

需品サービス班長 特技:上級需品器材



小隊長の指揮の下、班員を指導し入浴セット、洗濯セットなどを使用して入浴所、洗濯所を運営し業務を遂行。
上級陸曹の特技として後方支援連隊等で取得。

職種学校関連写真



調理実習



浄水セットによる海水の浄水

主要な職種部隊	後方支援連隊補給隊、後方支援連隊補給中隊、方面後方支援連隊補給大隊、補給統制本部 需品部、関東補給処松戸支処 等
主要な特技	需品、需品器材、燃料、落下傘、部隊補給、給養 等
主要装備品	水タンク車、浄水セット、野外入浴セット、野外洗濯セット 等



入浴所の運営



補給品の積載



燃料給油



食材の交付

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

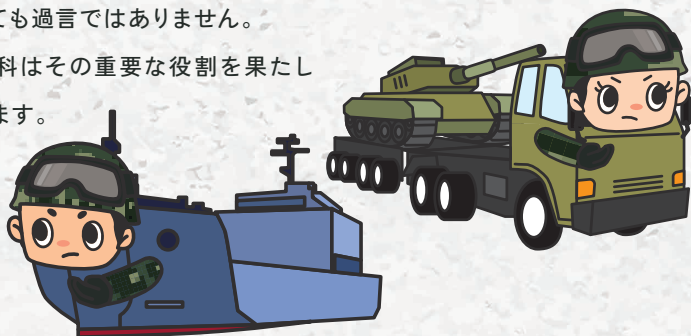
~ 世界のどこへでも運ぶ！ 作戦の要 ~



輸送科は、陸上輸送、海上輸送、航空輸送全般を担当し、あらゆる輸送手段をもって隊員、戦車、弾薬、各種補給品等を輸送します。

自衛隊の活動において、必要な物資や人員が指定された場所に届かなければ作戦は成り立ちません。特に、災害派遣や国際平和協力活動など、緊急性の高い状況下では、輸送の成否が部隊の活動を左右すると言っても過言ではありません。

輸送科はその重要な役割を果たしています。



この職種の
やりがい！

輸送のマネジメントスキルが身に付き、国内外で活躍できる。
高度な運転・操船スキルが身に付き**大型免許・船舶免許**が得られる。

職種学校 輸送学校(東京都)

朝霞駐屯地内に所在する防衛大臣直轄機関です。輸送学校は全国に所在する輸送科部隊等に勤務する隊員に対し、輸送に必要な知識及び技能を教育訓練するとともに、輸送に関わる研究を行っています。輸送学校の敷地内には2カ所の積載・卸下実習場があり、そこには鉄道コンテナ貨車や輸送ヘリなどの実物や輸送機や輸送艦の積み込み口の模型が置かれています。

輸送科紹介動画



輸送科の主要装備品



特大型トラック

主に物資や装備の輸送に使用。
装甲人員輸送車等の装甲車両も積載可能。
各方面輸送隊、各師・旅団輸送隊が装備。



特大型運搬車

4軸16輪のトレーラ。戦車運搬に使用。
方面輸送隊が装備。



にほんばれ型輸送艦

主に人員や車両、物資を輸送。海上輸送群が装備。

装輪操縦手 特技:初級輸送



輸送分隊長の指揮の下、車両の操縦業務等に従事し、物資等の輸送任務を遂行。必要な大型自動車免許は官費で取得。

輸送マネージメント 特技:上級輸送



輸送任務達成のため、部隊や企業と密接に調整し、計画を作成する等して、最適な輸送のコーディネイトを実施。

海上輸送 特技:運用



輸送艦に乗り、航海士、機関士等として輸送任務を遂行。必要な資格は官費で取得。

職種学校関連写真



コンテナ収納検査訓練



ANAでの研修

主要な職種部隊	陸上自衛隊中央輸送隊、方面輸送隊、後方支援連隊輸送隊、後方支援隊輸送隊、海上輸送群
主要な特技	輸送 等
主要な装備品	特大型セミトレーラ、特大型運搬車、特大型トラック、7tトラック、大型トラック、小型トラック、大型バス、マイクロバス、海上輸送艦



警戒・自衛戦闘訓練



戦車輸送



港湾荷役訓練



航海実習

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ 見えない脅威に立ち向かう ～



化学科は、特殊武器(核・化学・生物武器)対処を担う職種です。

偵察車両や除染車を用いて、サリン等の有毒化学剤で汚染された地域を偵察するとともに、汚染された人員や装備品を除染し、被害の拡大を防止します。

一部の部隊では、対焼夷(消火)、発煙能力も持つ。

原子力災害発生時には、放射線の測定、人員の除染を行い、国民の安全・安心に寄与します。

化学テロ発生時には、警察や消防と連携し、化学剤の検知や汚染された地域の除染を行い、国民の生命・財産を守ります。

このように、化学科職種は、災害派遣、テロ対処、そして有事まで、多岐にわたる活動を行い、国防に寄与しています。

職種学校である化学学校は、OPCW(化学兵器禁止機関)から国際的なレベルの分析能力があるOPCW指定ラボラトリとして指定されています。



この職種の
やりがい!

特殊武器(核・化学・生物武器)に関する専門的かつ高度な知識や技術を学べるとともに、国内で唯一、**特定物質(サリン等)からの防護(サリン等の合成、防護装備の性能等)に関する研究**ができる。

職種学校 化学学校(埼玉県)

大宮駐屯地に所在する特殊武器(核・化学・生物武器)対処のための教育や研究を行う学校です。地下鉄サリン事件や福島第一原発事故での活躍は国際的にも評価されており、他国軍との交流も活発に行われています。

化学科紹介動画



化学科の主要装備品



NBC偵察車

放射線(ガンマ線、中性子線)の測定、サリン等の有毒化学剤及び生物剤を検知・識別し、汚染状況の解明が可能な装甲車。放射線遮蔽能力、有毒化学剤や生物剤からの防護能力を持つ。

化学情報陸曹 特技:上級化学



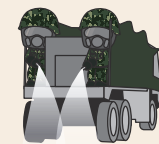
偵察班長の指揮の下、NBC偵察車等の装備を駆使して、特殊武器等で汚染された地域の偵察を遂行。



除染セット(除染車)

放射性物質、有毒化学剤及び生物剤に汚染された人員、装備品及び地域(道路など)の除染が可能。車体は大型トラックベース。前方及び後方に設置されたスプレーで除染剤を散布可能。

化学手 特技:初級化学



除染班長の指揮の下、除染装置を駆使して地域、装備、人員の除染作業等を実施。



18式個人用防護装備

有毒化学剤等が存在する環境下において、隊員に影響を与えことなく活動することができる個人用の防護装備。防護マスクと防護衣から構成。

化学整備陸曹 特技:中級化学整備



補給処や整備部隊において化学器材の定期整備や故障整備等を実施。

職種学校関連写真



学生教育
除染車を用いた車両除染の教育



調査研究
(特定物質(サリン等)を使用した評価試験)

主要な職種部隊	中央特殊武器防護隊、師・旅団特殊武器防護隊、師・旅団化学防護隊等
主要な特技	化学、化学整備、高圧ガス取扱、放射線取扱等
主要な装備品	NBC偵察車、除染車、除染装置、液体散布車、発煙機、化学剤監視装置、化学防護衣、18式個人用防護装備、気密防護衣、偵察要員防護セット、火炎防護衣等



NBC偵察車による偵察



地域除染訓練



対焼夷訓練



米軍との共同訓練

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ 自衛隊内の警察 ～



警務科は、「自衛隊内の警察」として、部内の秩序維持を担う職種です。
また、第302保安警務中隊には「特別儀礼よう」の任務が付加されています。
警務官は、「特別司法警察職員」として、取調べ、鑑識、逮捕術などの専門技能を修得しており、自衛官による犯罪、自衛官や自衛隊施設に対する犯罪の捜査のほか、警護や道路交通統制、防犯活動の実施など、犯罪を未然に防ぐ活動も行っており、必要に応じて警察と連携します。
警務隊は部隊の規律と部内の秩序を守る要であり、その使命感と責任の重さに誇りを持って業務を遂行しています。



この職種の
やりがい!

隊員の安全と部隊の秩序を
守るという使命を実感できる職種です。

職種学校 小平学校（東京都）

小平学校は自衛隊の任務遂行の基礎となる警務・会計・人事・法務・システム等の実務全般にわたる幅広い教育を担任する陸上自衛隊唯一の教育機関です。事務官や海空自衛隊も含めた自衛隊員にとっての「実学の府」となっています。

警務科の主要装備品



オートバイ（警務用）

交通統制や交通誘導、要人警護に使用します。
緊急車両としても使用するため、赤色灯とサイレンアンプ、スピーカー等を装備。
警務隊が装備。

警務陸曹

特技：警務



警護、交通統制、規律違反の防止等の任務を遂行



小型（警務用）

交通統制や交通誘導、要人警護を始め捜査のための移動等汎用的に使用します。
緊急車両としても使用するため、赤色灯とサイレンアンプ、スピーカー等を装備。警務隊が装備。

警務陸曹

特技：警務



犯罪捜査の任務を遂行。



特別儀礼よう銃

外観と操用性を重視して設計された儀礼用の小銃。国賓を迎える際の儀礼よう等で使用。
第302保安警務中隊が装備。

保安警務中隊保安陸曹 選考基準あり



特別儀礼よう隊の一員として国賓を迎える際の儀礼よう等の任務を遂行。

【特別儀礼ようとは】

各国の国家元首・首相・軍高官等が公式に日本に訪問された際に行う最初の公式歓迎行事

職種学校関連写真



捜査演習
(犯行現場での検証)



逮捕術の練成訓練

主要な職種部隊	中央警務隊、方面警務隊、地区警務隊、保安警務中隊
主要な特技	警務、犯罪捜査
主要な装備品	オートバイ（警務用）、小型（警務用）、拳銃等

警務科紹介動画



鑑識活動



高官警護



観閲式における特別儀礼よう



特別儀礼よう

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ 隊員の生命と健康を守る ～

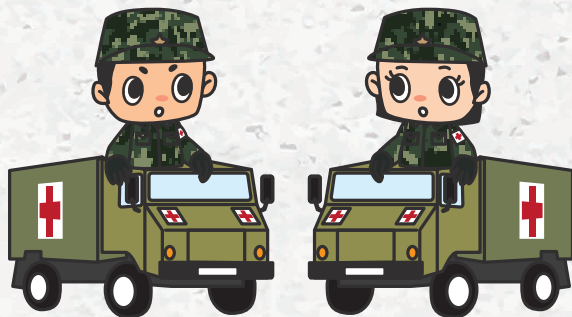


衛生科は、隊員の健康管理、負傷者の治療と後送、防疫、衛生資材の補給・整備などを行う職種です。

有事には収容所を開設し、負傷者の収容・治療を実施します。日常では健康診断の支援や応急処置の訓練・指導も行っています。

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師及び救急救命士、准看護師など、資格を持つ隊員が一丸となり任務にあたります。

近年では国際緊急援助など、海外での医療・衛生支援活動も増えています。



この職種の
やりがい!

入隊後に准看護師や救急救命士、臨床検査技師、診療放射線技師などの資格が取れ、活躍できる場が広がります。
女性自衛官も多く活躍しています。

職種学校 衛生学校(東京都)

衛生学校は、自衛隊の衛生科隊員に必要な知識と技能を教育する機関です。臨床検査技師や救急救命士の養成、衛生部隊の運用に関する調査研究も行っています。卒業生は各部隊で救護支援や健康管理業務等に従事し、災害派遣や国際貢献でも医療面で活躍しています。

衛生科紹介動画



衛生科の主要装備品



野外手術システム

開胸、開腹、開頭といった救命のための初期外科手術を行うことが可能で、1日あたりおよそ10～15人の手術に対応する能力を有する装備。
後方支援連隊等が装備。

医官・看護官 特技:医官・看護官



師団収容所等における、緊急患者の手術準備及び看護業務等に従事。



1・1/2t 救急車

1・1/2tトラックの後部の完全密閉型キャビン内に脱着式の生命維持装置等を搭載した自衛隊仕様の救急車。
各衛生科部隊が装備。

救急救命陸曹 特技:中・上級救急救命



部隊衛生施設各師団収容所間の患者後送間救護業務等に従事。



救護用医療のう第一線救護衛生員用

第一線救護衛生員が携行し、応急処置に使用する装備。携行型担架、輸液セット、包帯、胸腔穿刺針、輪状甲状靱帯切開セット等により構成。
各衛生科部隊が装備。

中隊救護陸曹 特技:救急救命・衛生



普通科中隊等に同行し、第一線における応急・救急処置を実施。また、隊員の健康管理、施設等の防疫等業務にも従事。

職種学校関連写真



第一線救護衛生員集合教育



臨床検査技師課程

主要な職種部隊	方面衛生隊、後方支援連隊(隊)衛生隊、水陸機動団後方支援大隊衛生隊等、各普通科衛生小隊、対特殊武器衛生隊
主要な特技	医官、看護官、薬剤師、救急救命、衛生、臨床検査、診療放射線等
主要な装備品	救急車、第一線野外医療のう、各種医療器具、救護用医療のう第一線救護衛生員用等



第一線(現場)



手術車内での手術



救急車内での救急処置



航空機(ヘリ)内での救護

JAPAN GROUND SELFDEFENSE FORCE

～ お金で部隊を支えます ～



会計科は、活動する全ての部隊が必要な物の調達や隊員に対する給与・旅費の支払を行っています。

お金を取り扱って部隊、隊員を支援したり、業者や他省庁と調整して仕事をすることが多い非常に大事な職種です。

会計科の隊員は国のお金を取り扱う大事な仕事に責任を持ち、日々の業務にやりがいと誇りをもって取り組んでいます。



この職種のやりがい!

パソコンスキルや会計知識、簿記、業者との契約など、社会において活用できるスキルを身に付けることができます。

職種学校 小平学校 (東京都)

小平学校は自衛隊の任務遂行の基礎となる警務・会計・人事・法務・システム等の実務全般にわたる幅広い教育を担任する陸上自衛隊唯一の教育機関です。事務官や海空自衛隊も含めた自衛隊員にとっての「実学の府」となっています。

会計科の主要装備品等



小型トラック

自衛隊内では、最も汎用的な車両の一つである幌張りの小型トラック。



大型トラック

幌張りの汎用車両の一つである大型トラック。人員輸送だけでなく調達した物品等もある程度輸送することが可能。

契約陸曹

特技:調達



業者との契約締結等に関する会計業務を遂行。

給与陸曹

特技:会計



隊員の給与や旅費等に関する会計業務を遂行。

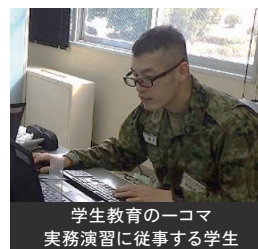
会計陸曹

特技:会計



契約業者や隊員への支払い等に関する会計業務を遂行。

職種学校関連写真



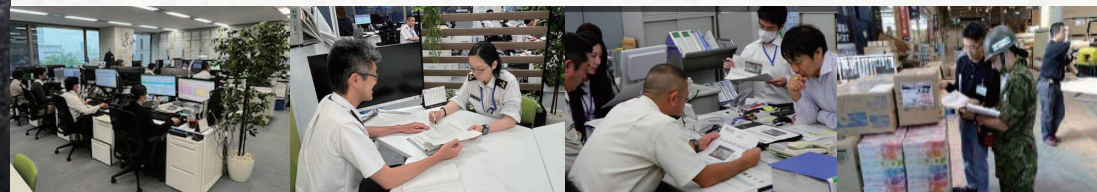
学生教育の一コマ
実務演習に従事する学生



学生教育の一コマ
システム操作教育を受講する学生

主要な職種部隊	陸上自衛隊中央会計隊、方面会計隊
主要な特技	会計、調達
主要装備品	小型トラック、大型トラック 等

会計科紹介動画



事務所の風景

給与の手続き

予算の調整

災害時の調達

～ 国防に音楽で貢献 ～



音楽科は、隊員の士気を高める演奏や広報活動の一環としての演奏を行い、国家的行事や儀式、要請に応じた演奏を担当します。

任務は「自衛隊内での演奏」「公式行事での演奏」「一般向け演奏」「教育訓練」があります。各隊員は演奏だけでなく、音響機材の設営や録音、CD作成なども担います。

音楽隊は全国各地での演奏会にも参加し、日々の個人練習や体力訓練を通じて、音楽家・自衛官としての技能を磨いています。

音の力で隊員を鼓舞し、国民に元気を届ける——それが音楽科の使命です。



この職種の
やりがい!

ハイレベルな環境で
音楽を追求でき(めざせ中央音楽隊!)、
やりがいと充実感を感じることができます。

職種学校 職種学校はありませんが、これに相当する部隊として中央音楽隊(朝霞駐屯地)があります(埼玉県)。

1951年6月、陸上自衛隊の前身、警察予備隊の音楽隊として発足した日本を代表する吹奏楽団です。防衛大臣直轄の音楽隊である中央音楽隊は、国賓・公賓の歓迎行事での特別儀よう演奏を延べ100ヶ国、1500回以上行い、これらの功績により2015年、内閣総理大臣「特別賞状」を受賞しています。

音楽科紹介動画



音楽科の主要装備品



音楽班長

特技:音楽



音楽隊長の指揮を受け、音楽の演奏指揮のみならず、音楽班の隊員を指揮して指揮所の警戒等の任務も遂行

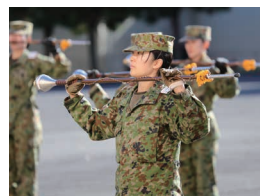
音楽陸曹

特技:初～上級音楽



主に、隊員の士気高揚、儀式、広報等のための演奏活動に従事。必要に応じ、指揮所の警備任務も遂行

職種学校関連写真



学生教育の一コマ
指揮杖操作技術を磨く学生



学生教育の一コマ
警備用設備の構築要領を学ぶ学生

主要な職種部隊	中央音楽隊、方面音楽隊、師・旅団音楽隊
主要な特技	音楽
主要な装備品	管弦楽器、打楽器、ハーブ、ピアノ、広報用音響装置、楽譜作成装置、指揮棒、小銃等



広報演奏



能力構築支援(海外)



災害派遣演奏



特別儀よう

「共通職」とは？

陸上自衛隊には16の職種があり、1等陸佐以下の自衛官はそれぞれ固有の職種を指定されています。陸上自衛隊内の役職（ポスト）は、この職種をひとつの基準として設けられています。一方で、職種の指定がない所謂「共通職」というポストも多数存在します。

ここでは、数ある「共通職」の中から、イメージの湧きやすい幾つかの仕事をご紹介します。

サイバー 関連



テクノロジーで防衛を支える“現代の最前線”

概要

防衛大臣直轄の陸海空自衛官の所在する共同の部隊が「自衛隊サイバー防衛隊」です。自衛隊サイバー防衛隊は、隊本部、サイバー作戦隊、ネットワーク運用隊、中央指揮所運用隊で構成され主として東京都新宿区の市ヶ谷駐屯地に、一部は神奈川県の大久保駐屯地に所在しています。自衛隊サイバー防衛隊では24時間365日、防衛省情報通信基盤（DII）及びこれに接続する情報システムを監視・サイバー攻撃対処を行っています。

やりがい

サイバー攻撃など、目に見えない脅威から組織の安全を守る最先端の仕事です。未来の防衛に欠かせない分野で、専門スキルを活かせます。また、通信や情報が確実につながることで、隊員の安全や任務の遂行が可能になるという実感が得られます。技術が進化する中で常に新しい知識が求められるため、成長意欲を持って挑み続けられる刺激的な職務です。新しいガジェットやシステムにも詳しくなれるので、プライベートでも周りから頼られます。

防衛省・自衛隊では、サイバー人材の育成に力を入れています。

防衛省・自衛隊ではレベルに合わせて段階的に成長できる仕組みが整っています。全く知識がない状態から入隊する人も、皆さんのように知識や技術をもって入隊する人も、その人に応じてスタート、そしてスキルアップしていくことができます。

サイバー専門部隊 推しポイント

- 大規模なネットワーク、業務系システムを守る
- 最高レベルのセキュリティに携われる
- 他の組織では触れない装備品、システムにも携われる

法務官

～ 任務の裏に、 法務官あり～



概要

国防、災害派遣、国際活動など、自衛隊のすべての任務は法に基づいて遂行されなければなりません。その適法性を確保し、組織としての信頼と安心を支えているのが法務官です。法務官は、部隊の行動が法的に正しいかどうかを判断し、助言を行う法律の専門職です。国内法はもちろん、国際人道法や安全保障関連の国際法にも精通しており、PKOや緊急援助活動など海外任務では、米軍の法務部門や赤十字国際委員会（ICRC）と連絡・調整を行うこともあります。法務官は、法の力で自衛隊の任務遂行を支えるとともに、社会と現場をつなぐ重要な役割を担っています。

やりがい

大規模で特殊な自衛隊という組織を、法の視点から支えるという責任感と誇りがあります。国内外で自衛隊が活動する際には、常に法的な正当性が求められます。法務官は、その判断のよりどころとなる法的助言を行い、任務の適法性を確保するという重要な役割を担っています。また、国際法や戦時国際法など高度な専門知識を活かし、海外派遣や国際協力の中でも活躍できるため、法律の専門家としての能力が直接国家の安全保障に貢献している実感を得ることができます。単なる法律事務ではなく、現場と密接に関わりながら、組織と社会を法で支える、それが、法務官の仕事にしかない大きなやりがいです。

広報官

～ 自衛隊の魅力を 伝える“顔”～



概要

自衛官を志望する人を募るために、さまざまな告知PRから、志願者の受験・入隊まで全般をサポートします。また地域とのコミュニケーション窓口として、自衛隊の各種イベント、部隊見学や体験学習の受付や随行などの、さまざまな広報活動を行っています。広報官は、各部隊等での勤務経験がある隊員が任命されます。とはいえ、強面のおじさんばかりと思われがちですが、実際には普通の若い男性、女性隊員もたくさんいます。主に自衛官の募集に関する業務やイベント等の広報活動を行っており、地域に溶け込み、一般の皆様と深くかわるお仕事です。

やりがい

自衛隊のことを知らなかった人が、わかりやすく親しみやすく伝えることで、広報を通じて理解してくれる、また自衛隊に好感を持ってくれたり、信頼される存在として認識されることが、自分の活動の成果として実感できます。直接「ありがとう」「安心しました」と言われることも多く、活動の手応えを感じられます。自分の言葉や表現がきっかけで自衛隊に興味を持つ人が増えたり、入隊に結びついたときには、大きな喜びと誇りを感じます。イベントなどでいろいろな人と話す機会があり、コミュニケーション能力があがります。SNSにも詳しくなりますし、発信力も高まります。広報の奥深さも実感できます。

語学教官

~国際任務の部隊裏に 語学教官あり~



概要

語学教官は、英語、ロシア語、中国語、韓国語を中心に、任務上必要な語学力を隊員に身につけさせることを目的に、海外派遣や他国軍との共同訓練、国際任務等を見据えた語学教育を行います。教官は、さまざまな教材を用いてリスニングやリーディング、スピーキングなどの授業を行い、実践的な語学力の育成に努めます。この際、教育の対象となる隊員それぞれの今後控えている任務や技能等に応じた柔軟な指導が求められます。教官自身も定期的に研修を受け、語学力や指導技術の向上に努めながら、自衛隊の各種活動を支える一員として高い専門性が期待されます。

やりがい

教えた知識が、隊員の任務遂行や国際協力の現場で直接活かされることは、大きなやりがいです。特に、語学が苦手な隊員が自信を持って発言できるようになったり、無事に海外任務を終えて感謝の言葉をかけられた時には、この仕事の意義と手応えを強く感じます。また、自身も語学や指導技術を日々磨き続ける必要があり、常に成長を実感できる点も魅力のひとつです。語学教官は、語学教育を通じて自衛隊の各種活動を支える、やりがいと責任に満ちた仕事です。

戦史教官

~過去の教訓を知に変え、 未来の作戦行動に活かす~



概要

戦史教官は、防衛大学校、幹部候補生学校や幹部学校などにおいて戦史教育を担当している教官です。教場における講義のみならず、戦跡などの現地において教育を行うこともあります。それぞれの学校における教育においては、課目ごとの教育目的や被教育者の特性等に応じた適切な教育を実施します。教官自身も日々戦史研究に取り組み知識の涵養に努めるとともに、如何にその知識を授けるか、教育技法についても学び続ける必要があります。また、職種学校においてもそれぞれの職種の戦史教官がおり、職種の特性に応じた戦史教育を行っています。

やりがい

過去の戦争や戦略を学ぶことで、学生等に広い視野と深い思考力を養わせることができるのは大きな喜びです。講義やグループ研究、討論を通じて、歴史の意味を理解し、自ら考え判断する力を身につける姿に教官としてのやりがいを感じます。また、戦史の教育は単なる知識の伝達にとどまらず、現代の防衛や指揮統率に活かせる実践的な学びです。自分自身も多角的な視点を磨きながら、組織の伝統と理念を支える使命感をもって取り組める仕事です。教える喜びと、自身の成長を同時に実感できる点が、この仕事の魅力です。また、歴史好きにはとても魅力ある職場です。

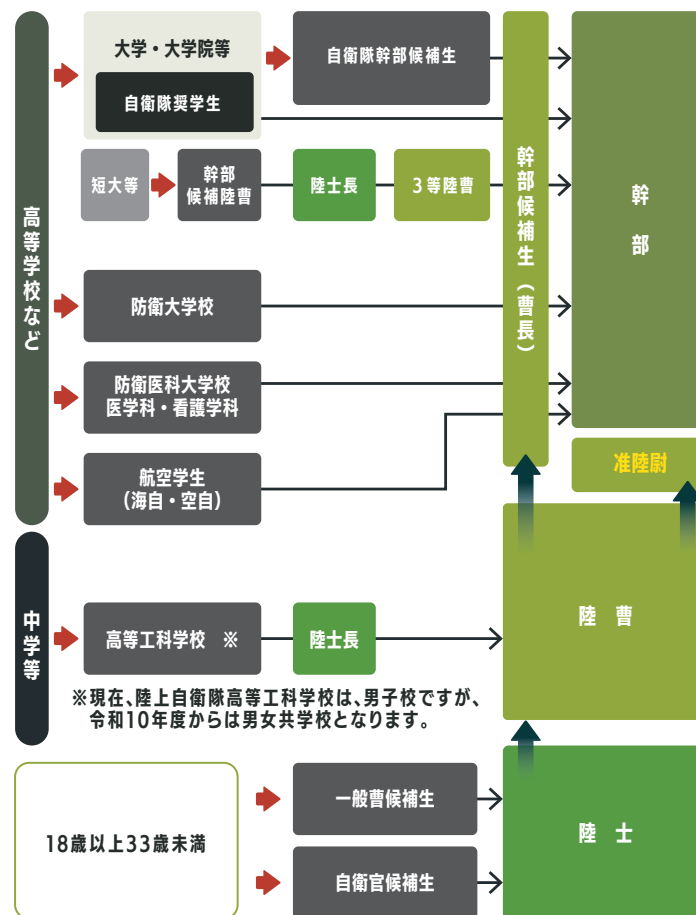
陸上自衛隊のキャリアパス

自分だけのキャリアプランを築こう

陸上自衛隊には、さまざまなキャリアパスが存在し、階級社会のイメージと異なり、とても柔軟な制度設計が可能となっています。
どのルートを進んでもキャリアアップが可能です。

採用種目と対象者

➡ : 採用試験 ▲ : 試験又は選考



自衛官の階級



陸上自衛隊の退職後の活躍

スキルを活かした活躍の場

自衛隊退職後も経験を活かし、さまざまな職業で活躍しています。

ITエンジニア



情報技術(IT)を活用してシステムやソフトウェアの開発・運用をする専門職。IT知識のみならず、コミュニケーション能力、問題解決力、論理的思考力が求められます。

この経験が役立った!

自衛隊では通信科職種の部隊でシステム関係の業務に従事していました。IT関連の知識や経験もさることながら大きな組織で仲間と調整しながら業務を遂行していた経験は大きく役立っていると感じます。

自動車整備士



自動車の点検、整備、修理などを行う専門職。自動車の構造や機能に関する知識や技術を活かし車検や故障修理などを通じて自動車の安全確保と快適な走行を支えます。

この経験が役立った!

自衛隊では、武器科職種の部隊で各種車両等の装備品の整備業務に従事していたので、その経験がそのまま今の仕事に活きていると思います。

製造業



素材を加工して製品を造る製造業。設計から現場の機械オペレーターまで様々な役割があります。活躍できる業界も広く、ものづくりを通して人々の生活を支えます。

この経験が役立った!

自衛隊では、需品科職種の部隊で需品器材の整備等の業務に従事していました。物を直すという業務から造る側になりましたが、整備業務等を通じて得た経験は活かしていると思います。

主要装備品一覧



オートバイ「偵察用」(偵察オート)

主に偵察、連絡等に使用するオフロードバイクで、悪路においても軽快に行動することが可能です。また、汎用ヘリコプター等での空輸も可能で、必要な地域に迅速に投入できます。偵察部隊を始め戦車連隊内の偵察小隊や、普通科連隊内の情報小隊等、各部隊で運用されています。



73式小型トラック(小型)

1/2tトラックは、陸上自衛隊や地方協力本部で使用される小型の非装甲汎用車両です。指揮官輸送や移動、災害時の連絡業務に加え、迫撃砲や対戦車誘導弾の運搬、各種装備のプラットフォームとしても活用され、銃架を設ければ重機関銃の搭載も可能です。



73式中型トラック(中型)

1 1/2tトラックは、陸上自衛隊が1973年から運用する中型汎用車両で、「1トン半」とも呼ばれます。資材や人員(約12名)の輸送に使われ、高機動車より大きく、73式大型トラックより小さいサイズが特徴です。



高機動車(HMV)

普通科連隊などで使用する隊員や物資を輸送するための車両です。一般道路における高速性能走行に加え、高い最低地上高及びタイヤ空気圧調整装置により優れた路外機動性も有しています。また、ランフラットタイヤの採用により、被弾時の走行性能が向上しています。



3 1/2t トラック(大型)

3 1/2t トラックは、陸上自衛隊が1973年から運用する大型汎用車両で、「3トン半」とも呼ばれます。陸上自衛隊の各部隊において人員、物資、装備品等の輸送に主に使用されています。ちなみに道路交通法上の区分では中型に区分されるサイズですが、車両総重量の関係で運行には大型免許が必要です。

主要装備品一覧



軽装甲機動車(LAV)

主に普通科部隊が装備する汎用的な装甲車両で、乗員が天井ハッチから身を乗り出して小銃や機関銃等の武器を使用できる設計になっています。略称をLAV、愛称を「ライトアーマー」としており、部隊内では「ラヴ」とも呼ばれています。(イラストは機関銃用の銃架を装備)



96式装輪装甲車(WAPC)

装輪式の装甲化された人員輸送車両で足回りには8輪のコンパクトタイヤを装備し、被弾してもすぐに空気がぬけてパンクすることなく走行が続けられます。また車内からタイヤの空気圧を遠隔操作できる様にもなっています。



水陸両用車(AAV7)

水陸機動団の戦闘上陸大隊等が装備する装甲化された水陸両用車両で海上機動性及び防護性に優れ、島などに海上から部隊等を投入するために使用されます。



87式偵察警戒車(RCV)

主に機甲科の偵察部隊で運用されており、威力偵察、つまり敵にわざと攻撃を仕掛けて、反撃速度やその規模から敵の規模や練度といった情報を得たり、あるいは通常の偵察・警戒活動を行うための装甲車です。略称を「87RCV」、愛称を「ブラックアイ」として使用しているが、配備部隊内では「RCV」の通称が用いられています。



16式機動戦闘車(MCV)

即応機動連隊、偵察戦闘大隊などが装備している装甲化された装輪式の戦闘車両です。105mm砲を搭載した8輪コンパクトタイヤを装備した車両で、高速道路を時速100kmで走行でき、空自の輸送機C-2で空輸も可能なため、離島などの遠隔地へ迅速に投入することができます。



10式戦車(10TK)

10式戦車は独自のネットワークシステムを有し、従来の90式の無線による情報伝達に比べ情報共有の的確さ、迅速さが飛躍的に向上しています。また、重量が90式に比べ軽量なので、本州・四国・九州など全国的な配備・運用が容易です。



87式対戦車誘導弾(87ATM)

第2.5世代の対戦車ミサイルで、国内で初めてレーザー誘導方式を取り入れました。通称「中MAT」、愛称「タンクバスター」とし、また87ATMとも通称されています。



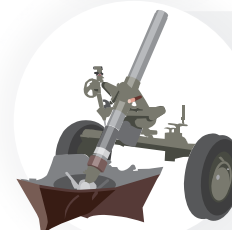
中距離多目的誘導弾(中多)

87式対戦車誘導弾の後継として開発されたミサイルで、発射位置から直接確認できない目標に対する射撃も可能となっており、生存性が向上しています。



81mm迫撃砲L16(81M)

普通科中隊の迫撃砲小隊が装備する迫撃砲で、名称からも分かるように120mm迫撃砲より小型の迫撃砲になります。基本的には小型トラックで牽引するトレーラ等に積載して運搬します。



120mm迫撃砲RT(120M)

普通科連隊の重迫撃砲中隊等が装備する大型の迫撃砲です。車輪を有しており、高機動車で牽引しての運搬が可能であるため、機動性の高さに特徴があります。なお、本迫撃砲を装軌車両に積載した96式自走120mm迫撃砲もあります。

主要装備品一覧



99式自走155mm榴弾砲 (99HSp)

75式155mm自走榴弾砲の後継として開発された自走榴弾砲です。自動装てん装置を装備し、99式弾薬給弾車と連携して高い発射速度及び継続的な発射速度を誇っています。



12式地対艦誘導弾発射装置 (12SSM)

88式地対艦誘導弾の後継として開発された地上から艦船に向けて発射する対艦ミサイルです。88式地対艦誘導弾に比べて射程が長くなっている他、山陰や谷間などに隠れての射撃が可能となっています。



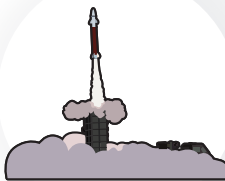
93式近距離地対空誘導弾 (近SAM)

35mm2連装高射機関砲L-90の後継として陸上自衛隊に配備された自走式の近距離防空ミサイル・システムです。略称をSAM-3、愛称「クロードアロー」、自衛隊内では近SAMとも呼ばれています。



11式短距離地対空誘導弾 (短SAM)

81式短距離地対空誘導弾の後継として開発された地対空ミサイルです。航空機だけでなく、巡航ミサイルや空対地ミサイルなどの超音速、小型ミサイルへの対処能力も有しています。近SAMより若干、遠方の経空脅威に対処します。



03式中距離地対空誘導弾 (中SAM)

改良ホークの後継として開発された低空目標用の地対空ミサイルです。航空機だけでなく、巡航ミサイル等への対処が可能で、優れた全周交戦性、同時多目標対処能力を有しています。短SAMより遠方の経空脅威に対処します。



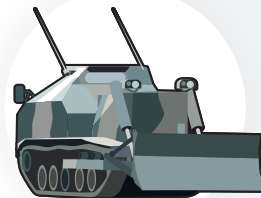
油圧ショベル (油圧)

陸上自衛隊が保有する油圧ショベルで、民生用をOD色に塗装したものです。アーム回転機能はなく、掩体掘削機とは異なります。バケットをグラブブルに換装すれば木材や瓦礫の撤去も可能で、災害派遣でも活躍します。車体には油圧ヒンジがあり、不整地でも上部を水平に保てます。公道走行はできず、輸送には大型トレーラーが必要です。



施設作業車 (EV)

装甲施設車両で、73式けん引車を基にしており、排土板に加え、伸縮式ショベルアームを装備。排土・整地が可能です。ショベルアームは自動制御にも対応しており、定められた手順で自律作業ができます。武装はありませんが、防護装備としてレーザー検知機や発煙弾発射機を備えています。



75式ドーザー (装甲ドーザー)

ドーザーに鉄板(鋼鉄板)を施した中型土木車両で、普通科や機甲科等の第一線部隊に対する機動支援に使用するため、中型ドーザーと同様の作業性能を持ち、かつ、より優れた機動性及び防護性を誇ります。最高時速45kmで走行可能です。



92式地雷原処理車 (MBRS)

92式地雷原処理用ロケット弾を発射し、地雷原を迅速に爆破処理して戦車用通路を開設するために使用する装備品です。発射されるロケットから末端部のパラシュートが空中で開き、数珠繋ぎになった爆破薬が引き出されて地雷原上に縦一列で落下し、一挙に爆発して地雷を誘爆処理する仕組みとなっています。

主要装備品一覧



91式戦車橋(戦車橋)

配備された戦車や自走砲などに随伴して、河川や地峡に橋を掛けて部隊を通過させる自走式架橋装備です。車体部は74式戦車の車体を使用しており、戦車並みの機動力があるとともに、姿勢制御機能を有しています。



07式機動支援橋(機動支援橋)

81式自走架柱橋の後継として開発された河川や地隙等に応急的な橋をかける装備品です。河川の流速や河床の土質に影響を受けることなく橋をかけることができます。



除染セット(除染車)

放射性物質、生物剤及び有毒化学剤に汚染された人員、装備、地域等の除染を行うために使用する装備品です。車体は大型トラックがベースで、荷台に2,500Lタンクや加温装置、散布ノズル等を装備しています。



NBC偵察車

化学防護車及び生物偵察車の後継として開発された装備品で、汚染された地域等の状況を解明するために使用されます。放射線の測定、有毒化学剤及び生物剤の検知・識別能力を有し、指揮システムとの連接により汚染状況を速やかに報告・通報することができます。



1・1/2t救急車

中型トラックの後部に完全密閉型のキャビンを搭載した自衛隊仕様の救急車です。キャビン内に脱着式の生命維持装置等が装着され、担架を4床または、着座姿勢で8名の患者を収容することができ、担架を2床、着座姿勢を4名等、収容する患者の状況によりレイアウトの変更も可能となっています。



野外炊具(炊事車)

移動式調理機材です。迅速かつ短時間で温かい食事を提供する能力が求められているため炊事能力は非常に優秀です。近年では震災など災害派遣先で被災者への炊き出しにも活躍しています。



野外入浴セット

野外において浴場を開設し、浴槽・シャワーを提供できる装備品です。必要に応じて浄水セットや水タンク車と連携して浴場を開設、維持・運営するので、水源から離れた場所等においても浴場施設を提供することができます。



多用途ヘリコプター UH-60JA

アメリカ軍のUH-60ブラックホークを自衛隊仕様にした機体です。日本では、陸海空自衛隊で運用されていて、陸自では多用途ヘリコプター、海上・航空自衛隊では救難ヘリコプターとして使用されています。



戦闘ヘリコプター AH-64D

この見た目からもわかる様に重武装・重装甲の機体のため「空飛ぶ戦車」とも呼ばれるヘリです。「ロングボウ・レーダー装置」は、対地ミリ波レーダーにより、地上の戦車や装甲車などの目標に対する広範な索敵能力を持っています。



V-22 オスプレイ

防衛省初のティルト・ローター機という特殊な輸送機で、回転翼機の垂直離着陸とホバリング、固定翼機特有の高速性と、航続性能を併せ持つ汎用性の高い輸送機です。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....